

補導員会だより

館林市青少年センター補導員会 編集・発行



第25号

平成31年2月15日発行

館林市青少年センター

☎ 73-4114

回
覧

※裏面もご覧ください

こころの健康センター視察研修




今回は、補導員会で視察訪問した、前橋市野中町にある「群馬県こころの健康センター」を紹介します。

センターの業務は多岐にわたり、思春期に関することから、自殺対策、依存症、精神症状による自傷・他害行為のある事案について、県内15署からの通報に対応するなど、特に複雑で困難な相談や指導業務を行っています。

その業務の1つ、「ひきこもり支援センター」のパンフレットから一部抜粋しました。

ひきこもりって？



学校、アルバイトや仕事といった外との交流を避け、6ヶ月以上にわたって家庭にとどまり続けている状態を指します。買い物やドライブなど、他者と直接的な交流をもたない外出が可能な方もいます。

病気じゃなくて状態をあらわしているんだね。
ひきこもりの背景はいろいろありそうだね。

ひきこもり相談専用ダイヤル

027-287-1121

【電話開設時間】 月～金曜日の9時～17時
(祝日及び年末年始を除く)

*相談が集中した場合、つながりにくいことがあります。

【対象の方】 ひきこもりについてお悩みのご本人、ご家族など(群馬県内在住の方)

相談内容を整理し、ご本人にとってよりよい生き方を一緒に考え、身近な相談機関等へおつなぎします。

ひとりで悩まずにまず相談

～子ども相談室～

悩み事、抱え込まずに 相談してみませんか！

○電話相談：月曜日～金曜日

午前9時～正午 午後1時～5時

☎ : 0276-73-4152

○来所相談：事前に電話で予約してください。 ○メール相談：件名に「子ども相談室」と書き、
場所：子ども相談室（館林市民センター4階） 本文に相談内容を書いて送信してください。



(子ども相談室 QR コード)

E-mail: seishonen@city.tatebayashi.gunma.jp

困っている事、悩み事、
友だちのこと、学校や家庭のこと
話せば心がホッとするよ☆





平成30年青少年センター補導状況報告

(平成30年1月～12月)

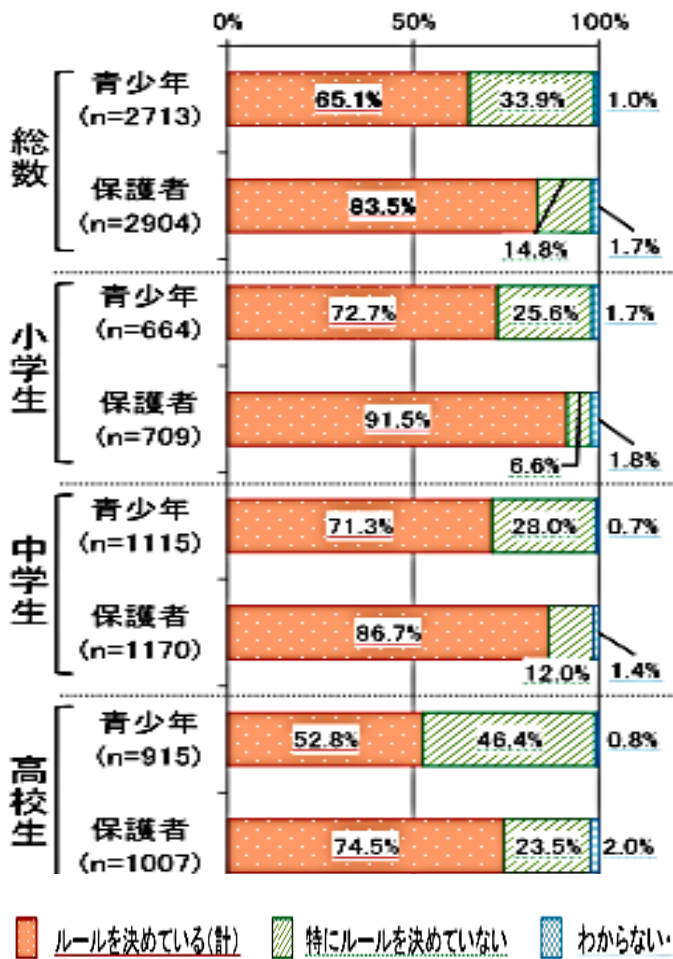


- 1 補導実施延べ回数 231回 延べ補導員総数 697人
- 2 補導（声かけ）総数 604人
- 3 補導（声かけ）場所 ①下校途中（363人） ②書店・レンタル店（86人）
③学校付近（55人） ④ゲームセンター（38人）
- 4 学識別 ①小学生（410人）②中学生（61人）③高校生（126人）

補導（声かけ）状況から、下校途中での小学生に対しての声かけが多く見られました。小学生、特に低学年の児童は一つのことに夢中になると、周囲の状況が見えなくなる傾向があるそうです。下校途中や学校付近での小学生に対する声かけは、子どもの安全や事故の未然防止に大きく貢献していると感じます。

最近の傾向として、ゲーム場よりも書店やレンタルショップでの声かけが多いようです。また、補導員さんに声かけされた青少年は、声かけに素直に応じ、子どもたちの健全な生活状況を垣間見ることができました。

インターネットの利用に関する 家庭のルール



青少年の実態と保護者の認識とのギャップ

親は、ルールを決めていると思っ
ても、子にそれが伝わってなければ、当然ながら、そのルールは守られず、親子関係が悪化することも。

また、家族とうまくいっていない子どもほど、ネットへの依存度が高いというデータもあるといいます。親子関係の悪化からスマホ依存という悪い連鎖にならないためにも、親子でネットのルールを明確にする必要があります。

非行防止は、明るい家庭づくりから...

家庭・学校・地域社会
みんなで子どもを守りましょう



出典：「平成29年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（概要）」（内閣府）

